

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



414  
A 3902

七月廿三日 某一字

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and interconnected, characteristic of cursive 'sōsho' style. The main body of text is written in black ink on aged, yellowish paper. There are several lines of text, with some appearing to be a signature or address at the bottom left.

大正十一年四月  
贈

1794

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60



と云ふく為取く此も右の事大少懐延りて  
其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて  
其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて  
其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて

七  
大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて  
其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて  
其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて  
其も右の事大少懐延りて其も右の事大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて

大少懐延りて



不穩く候も且西に不加連大務押至り候  
様申御座候事候は御座候事候は御座候事候  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は

御座候事候は御座候事候は御座候事候は

大正十一年四月  
天隈侯爵郵寄贈

急用状

井口方様中

いさ方川津家申候御座候事候は御座候事候は  
且人里も多分村に今も在り候事候は御座候事候は  
且今も在り候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は御座候事候は  
御座候事候は御座候事候は御座候事候は御座候事候は

多分は... 同前...  
多分は... 大車...  
...  
...

...  
...  
...

村山

河井

源八新田

七郎

新ノ島

世麻

親吉

三郎

水

石池新田

石次

上書  
為役由心文

半間 曾七郎

...

三郎 大...

凡例

高千穂市三根山藩領内新設十箇村  
万姓者并村地力 **中**に集令し上於官令  
之流し 許彦と集令し 續之 退教所  
り也 吉岡郡十八村万姓者高千穂一市新設村令  
集令し 上於官根所村 流し 万集令

二海積るに... 大津... 事... 事...

病中... 事...

望遠... 事...

大... 事... 事... 事... 事... 事... 事... 事... 事... 事...

如家  
和歌

梨

三

古藤之原力一平戸下平二村百姓  
在田者止大河海極朝星後指也

秋一ノハカノ言也也人  
少外流介 少外別 藤道一也集  
史一ノ 幸徳一之集一十編  
居少ノ 秋ノ 乃 乃 在 村 之 不 吉 田 平 等  
付 色 終 之 西 川 首 色 村 之 用 少 終  
村 之 由 十 之 村 之 由 一 新 階 口 首 力 言  
少 終 村 社 也 之 乃 夕 別 形 集 之 七 十

美濃の形多岐にわたる一書  
のうたに、高橋表の歌、石原の多  
くの字も、道中、山、谷、川、池、など  
に多岐にわたる、名も、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

高橋表  
石原の多岐  
山、谷、川、池、など  
名も、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

高橋表の歌、石原の多岐

大正十一年四月  
隱侯爵邸寄贈

高橋表の歌、石原の多岐  
山、谷、川、池、など  
名も、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

高橋表の歌、石原の多岐

高橋表の歌、石原の多岐

高橋表の歌、石原の多岐



多しを博と云下之村一帯ありて  
此年一斗入候に於てありて  
多量に病を移年したる事  
ありて此年一斗に政令ありて  
多しと云切色不句候事  
此年一斗に政令ありて  
多しと云切色不句候事  
此年一斗に政令ありて

小利、少利ありて

此年一斗に政令ありて  
多しと云切色不句候事  
此年一斗に政令ありて  
多しと云切色不句候事  
此年一斗に政令ありて  
多しと云切色不句候事  
此年一斗に政令ありて  
多しと云切色不句候事

山崎さかき 坂崎さかきとと 一ノ下さかき  
 水崎さかき 大崎さかき 二地利さかき  
 清崎さかき 新崎さかき 三崎さかき  
 比物さかき 早崎さかき 四崎さかき  
 山崎さかき 坂崎さかき 五崎さかき  
 中崎さかき

さかき 中崎さかき

山崎	坂崎	新崎	清崎	比物	早崎	中崎
水崎	大崎	二地利	三崎	四崎	五崎	中崎
清崎	新崎	三崎	比物	早崎	中崎	
山崎	坂崎	五崎	中崎			

中島	海八輪	物方花	梅	小新
大戸	川崎	懐之	平飛	一橋也
頭陀	中山	少橋	杉山	西井
長橋	海邊	西上	藤	教言寺
川邊	赤	急北	石川	公原白
甘藷	中島	小池	中村	河上
赤松	車田	三和	梅白	同島島

移平	少志之	徳者	梅并	鷲ノ山
植地	梅山	舟ノ町	二ヶ村	前田
西橋上	下山	平地	杉也	孫保
小見合				

四村

二ヶ村

多々川水系より流るる水は、此の地を流れて、

Handwritten text in cursive script, likely a list or record, located in the upper right quadrant of the page.

下札

鳥取

中津

鳥取

備前

三好

長門 備前 備後 備前 備後 備前 備後

鳥